

真田地域協議会 第3分科会 テーマ「福祉・防災・定住化の推進」

第3分科会では、「福祉・防災・定住化の推進」をテーマに、話し合いを進めてきました。

まず、福祉についてですが、

高齢者や障害を持っている人など、援護が必要な方への支援については、自治会ごと災害時要援護者登録制度（災害時住民支え合いマップ）へ登録し、取り組みが行われています。

真田地域では36自治会のうち、10自治会が未登録と聞いていますが、担当課では地域づくり委員会などで自治会に説明するなどして、制度への登録を呼びかけているということ。また、自治会でも登録に向けて積極的な動きがあると聞いております。

次に、防災についてですが、

それぞれの自治会ごと自主防災組織が作られ活動されています。

各自治会で行われる防災訓練では、自治会からの要請により、消防職員が訓練と一緒に参加したり、講師をしたりしており、自主防災の意識が高まりつつあると感じています。

また、要援護者の安否確認や支援方法などの訓練も行われている自治会もあるとお聞きしています。

このように、真田地域では、自治会ごとで福祉や防災への取り組みがすでに進められていると感じています。

しかしながら、真田地域は、年々人口が減少し、高齢化率が高くなっています。

自主防災組織で活動できる人が減り、援護を必要とする高齢者が増えています。

このようなことから、自主防災組織や災害時要援護者登録制度（災害時住民支え合いマップ）による活動が確実に行えるためには、真田地域への定住や移住によって人口が増加することが必要であると考え、定住化の促進に重点をおき、話し合いを進めています。

真田地域への定住や移住による人口の増加と、真田地域の活性化を図るためにどうしたらよいか。

真田地域の現在の姿と理想とする姿、また、人口が減少している原因と真田地域の良い点について意見を出し合い、問題を解決するための対策案を3つにまとめました。

1つ目として、「真田地域の特色がもっと出せるようなホームページ作り」です。

真田地域の情報を発信し、地域外の人に真田地域のことを知ってもらい移住、定住につなげたいと考えています。

2つ目として、「住民に真田地域のことを知ってもらうためのギャラリー」です。

真田地域の人に真田の良さを知ってもらうことで真田地域への定住化を図りたいと考えています。

3つ目として、「地元の子どもたちへの農業体験」です。

農業体験をすることが少なくなった地元の子どもたちに農業を体験してもらうことで、真田の豊かな自然、収穫の喜び、農業の良さを知ってもらい、真田の地で農業を後継してほしいと考えています。

この3つの対策案には、まだまだ話し合いをしていかなければならない問題もあります。

- ・ 情報や展示品などの収集方法。
- ・ 集めた情報や展示品の発信、展示方法。

誰がどのように情報などを集め発信していくのか。

今後は、これらの問題について、具体的に話し合いを進めていきます。